

令和7年度 燕市学校給食運営委員会会議録（要旨）

日 時：令和7年6月24日（火）午後3時から4時20分まで

場 所：燕市役所 3階301会議室

出席委員：燕東小学校委員、燕南小学校委員、燕北小学校委員、小池小学校委員、
小中川小学校委員、粟生津小学校委員、吉田小学校委員、吉田北小学校委員、
分水北小学委員、島上小学校委員、小池中学校委員、燕北中学校委員、
吉田中学校委員、分水中学校委員、食物アレルギーに識見を有する者、
学校薬剤師

欠席委員：大関小学校委員、分水小学校委員

委託業者：株式会社味彩燕、株式会社メフォス

栄養教諭：東部学校給食センター栄養教諭、西部学校給食センター栄養教諭

事務局：教育長、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、学校教育課課長補佐、
学校給食係

- 1 開会挨拶 小林教育長、小川委員長
 - 2 委員紹介 燕市学校給食運営委員会委員名簿を参照
 - 3 副委員長の指名
分水中学校長 丸山委員が指名された。
 - 4 議題（進行 小川委員長）
 - (1) 燕市の学校給食について
資料に基づき燕市の学校給食の特色について説明した。
 - (2) 令和6年度学校給食の取組報告について
資料に基づき「食育に関する取組」、「食物アレルギーに関する取組」、「学校給食喫食量調査」、並びに学校給食センター等での令和6年度取組報告について説明した。
 - (3) 令和7年度学校給食の取組（案）について
資料に基づき「食育に関する取組」、「食物アレルギーに関する取組」、「小中学校給食費に係る保護者負担の軽減」、並びに学校給食センターでの令和7年度の取組（案）を説明した。
- ※「令和7年度学校給食の取組（案）」について承認された。
- (4) 学校給食会計について
 - ① 令和6年度学校給食会計決算について
決算書、東部及び西部学校給食センター会計監査について報告した。

- ② 令和7年度学校給食会計予算（案）について
予算書のとおり説明した。

※「令和6年度学校給食会計決算」、「令和7年度学校給食会計予算（案）」について承認された。

- (5) 令和8年度学校給食実施回数（案）について
資料に基づき、令和8年度学校給食センター稼働日について説明した。

- (6) その他
学校給食運営委員会の委員数について、委員の負担軽減の観点から、次年度以降、委員数の見直しを行う予定である。

[委員の意見等]

■ 学校給食米負担金について (P. 16)

委員 昨今、米の価格が上昇している中で、学校給食米負担金額は昨年度と比べほぼ同額であるが、この金額でいままでどおりの米は賅えるのか。

事務局 学校給食米負担金は、燕市産米と学校給食会の統一方式米との差額を補填するための負担金である。米価の上昇については、燕市子育て世帯応援学校給食費補助金を50円から65円に引き上げることで対応している。

■ 給食米について

委員 昨今、米が不足しているが、給食米の量は次年度以降も不足することはないのか。世間では古米が出回っているが、給食米には、何を使っているのか。

事務局 米は、随時発注するわけではなく、JA新潟かがやき様に年間使用量を依頼しているため、通常どおりに収穫があれば、不足することはないと考えている。給食で使っている米は「こしいぶき」を使用し、11月からは新米を提供する。また、和食週間と給食週間には特別栽培米「飛燕舞」を予定している。

■ 20周年特別給食（新規事業）について

委員 燕市合併20周年特別給食が新規事業として企画され、とても良いことだと思う。20周年が終わった後も、特別献立を企画してもらえると子どもたちが喜ぶと思う。

■ 食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会について (P. 15)

委員 出席者数が3名というのは少ないと思う。例えば、日にちや曜日等を変えることは考えているか。また、(他市で)接触が原因でアレルギー反応を起こしてしまった事故があったが、子どもたちにアレルギーについての教育、給食時の注意点等の指導があるのか伺いたい。

事務局 (情報交換会について)

現在、学校に通っているお子さんは、冬に学校と翌年度に向けての面談をし、さらに新年度には新任の担任と打合せするなど、アレルギー対応が継続されているため、教育委員会に対する要望は少ないと思う。昨年度から、年長児の保護者を対象に加えて開催し、3名の参加であったが、小学校生活にむけて安心できる会になったと思う。入学前の保護者にニーズがあると思うので、今年度も保育園等に周知を依頼する予定である。

(子どもへのアレルギーについての教育・指導について)

新年度が始まってから給食が開始される前に、必ずアレルギーについての学級指導をするよう学校に依頼している。指導のポイントをまとめたものを配付し、その中には接触についての注意事項も含まれている。

■ 牛乳のストローレスの取組について

委員 前任校では、脱炭素社会の実現への取組が徹底され、牛乳パックは指でパックを開けて飲んでいた。人間が出すプラスチックごみが川を伝って海に流れることを考えると、牛乳のストローはいらないのではないかと考えている。

事務局 牛乳パックをあけるときの中身が飛んでしまうので、牛乳アレルギーのお子さんがある場合は配慮が必要となる。また、保護者から「行儀が悪いのではないか」等の声があった。学校の実情に応じて、すすめていただきたい。

委員 開けやすいパックと開けにくいパックには差があり、実技で行って見たところ開けられない子がいた。一方で、エコに挑戦したいと、ストローレスを始めている学級もある。環境が整い、できることから慎重にすすめていくことが重要だと思う。

■ 洋食器の日のスプーンについて (P.7)

委員 おもてなしカトラリーは毎年使用されるのですか。

事務局 東京2020オリンピック・パラリンピック大会の後から毎年提供している。メイドイン燕を感じながら、燕市を誇りにもつ機会として提供している。

5 閉会 閉会挨拶 丸山副委員長